

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年2月5日

事業所名: 北播磨こども発達支援室ゆらんこ

サービス種類: 児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている。	はい:92.6% わからない:7.4%	現状評価を今後も継続する。
	2 職員の適切な配置	常勤保育士・児童指導員の配置。	はい:92.6% わからない:7.4% ・子どもの様子や活動の内容の話しか聞かないので分かりません。	職員の増員を検討中。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性に応じた設備を整備している。	はい:85.2% わからない:14.8%	現状を維持しつつ、見直しも検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や消毒、換気を実施。清潔な空間を保つよう努めている。	はい:92.6% わからない:7.4%	今後も継続して行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の反省会、月に一度の職員会議を実施している。		今後も継続して行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		機会があれば実施する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人全体での研修会と事業所内研修を実施している。		今後も継続して行う。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的実施している。	はい:96.3% どちらともいえない:3.7% 気持ちの切り替えが上手に出来るように、いろいろ工夫し、アドバイスをしてくれる。	今後も継続して行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。	はい:96.3% どちらともいえない:3.7% 自分のやりたい事だけでなく、友達のしたい事にも参加できるように声かけ、工夫してくださり、自分と他者の気持ちの違いが理解	今後も継続して行う。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施している。	はい:96.3% わからない:3.7%	今後も継続して行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。	はい:96.3% 分からない:3.7%	現状評価を今後も継続して行う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日々の反省会を基に実施している。		今後も継続して行う。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日を除き支援体制を整えている。		今後も継続して行う。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々の反省会で協議をしている。	はい:85.1% 分からない:14.8% ・毎回、子どもたちの意見も取り入れてつくってくれているので、本人も楽しんでいる。 ・どんな活動をしているのか具体的に答えられない。	現状評価を今後も継続して行う。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	実施している。		今後も継続して行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の反省会の中から課題を出し、今後の対応等を協議している。		今後も継続して行う。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の反省会をふまえ話し合い実施している。		今後も継続して行う。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日々反省会等の協議をし、見直しを実施している。		今後も継続して行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	実施している。		日々の連携も同時に今後も継続して行う。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	未実施		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	未実施		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や園と連携し、時には訪問して情報共有を行っている。		今後も継続して行う。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校や園と連携し、情報提供を行っている。		今後も継続して行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	時間が許す限り参加している。		今後も継続して行う。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	事業所では未実施であるが、個人での参加をすすめている。	はい:33% いいえ:3.7% わからない:62% ・個々で通所しているので、交流はあると思う。	今後必要に応じて検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	避難場所としての連絡をしており、その際行事等のお誘いを受ける事はある。		参加出来そうな催しを検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書類を提示しながら説明している。	はい:100%	現状評価を今後も継続して行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	丁寧な説明をこころがけている。	はい:92.6% わからない:7.4% ・発達面での伸びしろについてどう支援いくかの、具体的な話があると嬉しい。	分かりにくい所をより丁寧に説明していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	未実施ではあるが、相談や面談は個々に受け、話をする機会を多く設けている。	はい:51.8% どちらともいえない:7.4% いいえ:3.7% わからない:37% ・毎回アドバイスをしてもらえるので助かります。 ・困った時は個別に相談できるので、プログラムがなくても満足です。 ・困ったときは相談にのってもらえるので、心強いです。	保護者のニーズに合わせて実施の方向で考えている。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	実施している。	はい:92.6% いいえ:3.7% どちらともいえない:3.7% ・毎回活動終わりに様子を教えてもらいま	現状評価を今後も継続して行う。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個々に面談をしている。	はい:92.6% わからない:3.7% どちらともいえない:3.7% ・困った時はその都度話を聞いてもらえているので助かっている。	現状評価を今後も継続して行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度より、お話し会を再開させ、年に3回実施した。	はい55.5% わからない:44.4% ・一度参加して、お母さんたちの話がとても参考になった。	日程を調整し、今後も継続して行う。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情等の受付を随時行っている。	はい:55.5% わからない:44.4%	保護者の要望等の発信の場をつくる。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡張や、口頭、もしくは電話での情報伝達を行っている。	はい:96.3% どちらともいえない:3.7%	今後も継続して行う。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	未実施	はい:29.6%わからない:59.2% いいえ:3.7%どちらともいえない:7.4%	ホームページを定期的に更新していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に同意書の署名をしていただき、厳重に管理している。	はい:85.1% わからない:14.8%	現状評価を今後も継続して行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの配布は行っていないが、緊急時の対応は周知している。	はい:77.7%わからない:18.5% どちらもいえない:3.7%	いつでも閲覧できるように整備していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害の様々なシチュエーションを想定した訓練を実施している。	はい:59.2%わからない:37% どちらもいえない:3.7%	訓練の内容や、災害発生時の児童の引き渡し方法の確認を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人内で研修を行っている。		今後も継続して行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時にも同意していただき、該当児がいる場合は適切に対応する。		今後も継続して行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りの際にアレルギーの有無を確認し、個々に対応している。		今後も継続して行う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で共有している。		今後も継続して行う。